

瀧本委員（民主県政会）

令和3年3月10日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教育の在り方等に関する独自のビジョンを示すことについて

教育長2期目を迎えるに当たり、教育長が提唱している新たな取組など、今後目指す教育の在り方等について、教育長独自のビジョンを全体の関連性も含めて整理し、分かりやすく示していくことが、学校現場を初め、生徒や保護者、県民にとって、理解を深めることになり、より改革が進んでいくことになると考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

本県が目指す、今後の中長期的な教育施策の基本的な方針・方向性につきましては、今年度策定された「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」や、新たな「広島県 教育に関する大綱」において、お示ししたところでございます。

とりわけ、「広島県 教育に関する大綱」の策定に当たりましては、総合教育会議において、本県教育の将来を見据えた私自身の考えもお示しし、知事を始め、全ての教育委員と十分に議論を尽くしてまいりました。

その結果、初等中等教育段階においては、私が特に注力すべきと考えております

- ・ 多様な学習機会と場の提供などを通じた「個別最適な学びの推進」や、
- ・ デジタル技術の効果的な活用等を含めた、児童生徒の「主体的な学び」を促す教育活動の充実、
- ・ さらには、これらの教育活動が主体的・対話的で深い学びを促すものとなるために必要な教職員の「本質的な問いを設定する力」や、「ファシリテートする力」をはじめとする資質・能力、専門性の向上

などが盛り込まれたものと考えております。

来年度には、ビジョンや新たな大綱を踏まえ、より具体的な施策や取組の内容を明示した「広島県教育委員会主要施策実施方針」を新たに策定いたします。

私といたしましては、これらの内容を、教職員をはじめ教育関係者としてしっかり共有しながら、引き続き、本県教育の更なる充実に向けた取組に果敢にチャレンジしていくとともに、様々な機会を捉え、私の教育にかける思いを県民の皆様にはっきり発信していきながら、「広島で学んで良かった」と思え

る,さらには、「広島で学んでみたい」と思われる日本一の教育県を県民の皆様とともに実現してまいります。